

## 第2回豊明市障害者福祉計画等策定・推進委員会議事の要旨

平成24年 3月16日(金)

午後1時30分～3時

市役所 東館 会議室4

### 1 あいさつ

### 2 議 事

#### (1) 第3期豊明市障害福祉計画(素案)について

- ・ 資料1に基づき、事務局より説明。平成24～26年度の3カ年の障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの見込み量とそれを実施するための方策を盛り込んだ計画。今春の制度改正や障害者虐待防止法についても対応している。
- ・ 委員より計画承認される。

#### (2) 第3期豊明市障害福祉計画パブリックコメントについて

- ・ 事務局より説明。2月1日～3月1日においてパブリックコメントを実施。

資料1とヒアリングまとめを市ホームページ・市民コーナー・社会福祉課窓口で開示。広報記事掲載で市民の意見提出について広く呼びかけた

が、

意見提出は1件もなかった。

#### (3) 第2次豊明市障害者福祉計画の進捗状況について

- ・ 資料2に基づき、事務局より説明。障害者基本法に基づく10年計画。平

成

20～29年度の教育・医療・就労・生活全般にわたる障がい者支援策を盛り込んでおり、平成24年度に中間見直し。「誰もがいきいきと暮ら

す

福祉のまちをめざして」という理念のもと、7つの基本目標を立て、進捗

状

況を確認しつつ推進している。

### 主な質疑応答

- Q 市役所での障がい者雇用促進はどうなっているか。知的障がい者の雇用ノウハウを蓄積し、積極的に雇用をすすめるべきではないか。
- A 現状の雇用は資料2のとおり。担当課に意見を伝え、推進を図りたい。

Q 障がい者の災害時避難や支援体制は、東日本大震災以降、課題が多く見えてきている。豊明市の対策はどうか。備蓄食料、緊急車両登録などの問題。現在、市と豊明福祉会・福田会で覚書をかわしているが、福祉避難所としての正式な登録が必要。静岡県富士市をモデルとした取り組みをしていくことはできないか。

A 担当課に意見を伝え、推進を図りたい。

Q 児童福祉法の改正について、今後の方向性は？

A 障がい児支援の強化を厚生労働省は打ち出している。障がい児の相談支援体制づくり含めて対策が必要。児童福祉課との協議のうえ、推進を図りたい。

Q 障がい理解を深める機会として学生のボランティア参加はとても重要。参加の機会づくりとともに参加呼びかけを。

A 高校生などの参加呼びかけ困難だが、取り組みの必要性あると考える。

Q 障がい者就労の場の拡大を課題と考える。地元企業への働きかけは今後どうしていくか？

A 個別的就労支援を強化実施することで、障がい特性にあった就労と就労継続できる事例を増やしていきたいと考えている。そうすることが地道ではあるが企業の障がい理解につながり、次の就労の場を生み出すことにつながると考える。

その他、障害福祉サービスの当事者への制度周知や災害時要援護者リストへの積極的な障がい者登録に関する意見などがありました。

本会議の次回開催は24年度であること、4月に第3期豊明市障害福祉計画を送付する予定であることを事務局より説明する。

出席委員 都築 和男、高橋 清二、近藤 二、佐々木 信富、三浦 美智子、  
山田 啓二、早川 要、森井 曜子、中山 広一、三好 順子、安藤 康、  
外村 恵 敬称略

傍聴者 なし

事務局 社会福祉課社会担当係長、近藤専門員